令和３年３月17日

資料３

第４回練馬区食育推進ネットワーク会議

食育推進ボランティアの活動について

１　食育推進ボランティア講座、継続講座の実施

地域で食育活動を進める人を増やすことを目的に、食育推進ボランティア講座を実施している。さらに修了生等を対象に、継続した支援を行っている。

1. 食育推進ボランティア講座（５日制）

令和元年度　受講者数　延207名

令和２年度　新型コロナウィルス感染症の影響により中止

1. 継続講座

ア　令和元年度　３回実施（受講者数　延57名）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 日程 | 内容 |
| １ | 令和元年12月12日 | 調理実習における衛生上の注意（講師：生活衛生課食品衛生担当係長） |
| ２ | 令和２年２月１日 | 「ちゃんとごはん」について（健康推進課栄養指導担当係） |
| ３ | 令和２年２月19日 | 高齢期の摂りたい栄養（介護老人保健施設　管理栄養士） |

イ　令和２年度　３回実施（受講者数　延58名）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 日程 | 内容 |
| １ | 令和２年10月19日 | 普通に食べることの意味（講師：群馬大学名誉教授　高橋久仁子） |
| ２ | 令和２年11月19日 | 高齢者の現状と食事のとり方（講師：日本女子大学教授　松月弘恵） |
| ３ | 令和２年12月４日 | 高齢者の口腔機能について（講師：健康推進課歯科保健担当係長） |

２　ちゃんとごはんプロジェクト

平成27年度からは食育推進ボランティアとの協働により、健康的な食事作りの体験事業「ちゃんとごはんプロジェクト」を実施している。

1. 令和元年度

ア　小学生対象　実施数：13回

（参加者数　延231名　活動した食育推進ボランティア数　延70名）

　　 イ　乳幼児保護者対象　実施数：６回

　　　　　　　　　　（参加者数　延53組　活動した食育推進ボランティア数　延23名）

※平成30年度途中より、清掃リサイクル課フードドライブより米や調味料等を、ＪＡ東京あおばより野菜を無償提供していただいている。提供していただいた食材は、食育の題材としても活用している。

1. 令和２年度

新型コロナウィルス感染症の影響により、「ちゃんとごはんプロジェクト」の実施が困難な状況が続いている。そのため、Zoomを利用した「オンラインでちゃんとごはん」を計画・実施した。

　　【オンラインでちゃんとごはん】

1. 令和２年８月11日実施　参加者数５名
2. 令和２年12月19日実施　参加者数５名

※小学生以下の参加者に関しては、保護者に調理中の見守りを依頼した。

３　食育キャンペーン等における活動

区民に広く食育を普及啓発するため、様々なイベント等で食育推進ボランティアの協力を得て、食育キャンペーンを実施している。令和元年度は、ねりま食育サミットやJA東京あおば農業祭、健康フェスティバル等に参加した。令和２年度は新型コロナウィルス感染症の影響により、食育キャンペーンは実施しなかった。

４　今後の展開について

1. 食育推進ボランティアとの連携による地域での食育の展開

　　現在、食育推進ボランティアは61名であり、「ちゃんとごはんプロジェクト」等で経験を積んだ食育推進ボランティアが、地域で独自のボランティア活動を展開しているケースもある。区民ならではの視点で地域のニーズに応じた活動を行っている方も多く、地食を通したつながりが広がっている。コロナ禍により食に関する活動には制約も多いが、今後も継続した活動支援を検討していく。

1. ちゃんとごはんプロジェクト　実施方法の検討

　　令和２年度はコロナ禍により、地域施設での調理や試食を伴う事業が実施困難となったため、「オンラインでちゃんとごはん」を実施した。オンラインでちゃんとごはんは、児童館等で実施する「ちゃんとごはん」と比較して、全ての作業に子どもが関わることができるため、「食の自立」を目的とするちゃんとごはんプロジェクトに適した方法でもある。今後も地域施設での事業実施に加えて、オンラインでも実施できるよう、周知方法や実施方法について継続して検討していく。